

償還 運用報告書 (全体版)

<償還日 2020年6月15日>

リアル・インド株式ファンド (3ヵ月決算型)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	2010年2月26日から2020年6月15日まで。	
運用方針	投資信託証券を主要投資対象として、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	以下の投資信託証券を通じて、主としてインドの企業が発行する株式等に実質的に投資を行います。 モーリシャス籍外国投資法人 TATA・インディアン・オポテュニティーズ・ファンド・ジャパンファンド 投資証券(米ドル建て)(以下、「TIOF」といいます。) 内国証券投資信託(親投資信託) マネー・マーケット・マザーファンド受益証券
	マネー・マーケット・マザーファンド	わが国の公社債。
運用方法	投資信託証券を通じて、主としてインドの企業が発行する株式等に実質的に投資を行い、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 各投資信託証券への投資割合は、資金動向や市場動向等を勘案して決定するものとし、原則としてTIOFの組入比率は高位とすることを基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。TIOFへの投資に当たっては、TATAアセット マネジメント リミテッドおよびTATA アセット マネジメント (モーリシャス) プライベート リミテッドから投資助言および情報提供を受けます。	
組入制限	当ファンド	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。投資信託証券および短期金融商品(短期運用の有価証券を含みます。)以外には投資を行いません。
	マネー・マーケット・マザーファンド	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準や市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「リアル・インド株式ファンド(3ヵ月決算型)」は、この度、信託期間を満了し、償還の運びとなりました。ここに、運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

リアル・インド株式ファンド（3ヵ月決算型）

■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			S&P BSE SENSEX		投資証券 組入比率	債券組入 比率	純資産 総額
		(分配落)	税込み 分配金	騰落率	(円換算) (参考指数)	騰落率			
第17作成期	32期(2018年3月15日)	円 11,046	円 25	% △6.3	ポイント 187.44	% △4.0	% 96.5	% -	百万円 3,944
	33期(2018年6月15日)	11,138	90	1.6	197.86	5.6	94.9	-	3,758
第18作成期	34期(2018年9月18日)	10,556	25	△5.0	198.10	0.1	94.8	-	3,350
	35期(2018年12月17日)	10,707	35	1.8	191.69	△3.2	92.8	-	3,126
第19作成期	36期(2019年3月15日)	11,025	35	3.3	206.48	7.7	93.8	-	2,098
	37期(2019年6月17日)	11,205	165	3.1	209.35	1.4	93.7	0.7	1,915
第20作成期	38期(2019年9月17日)	10,370	25	△7.2	190.67	△8.9	93.9	0.9	1,678
	39期(2019年12月16日)	10,823	390	8.1	212.42	11.4	95.5	0.9	1,574
第21作成期	40期(2020年3月16日)	9,114	25	△15.6	160.57	△24.4	92.9	1.2	1,237
	(償還日) 2020年6月15日	(償還価額) 7,677.44	0	△15.8	159.80	△0.5	-	-	955

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注4) S & P B S E S E N S E X (円換算) は、S & P B S E S E N S E X をアセットマネジメントOneが円換算し、2006年5月18日を100として指数化したものです（以下同じ）。

(注5) 「S & P B S E S E N S E X」は、S & Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCまたはその関連会社の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。

S & Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLC、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズLLCまたはその関連会社は、いかなる指数の資産クラスまたは市場セクターを正確に代表する能力に関して、明示または黙示を問わずいかなる表明または保証もしません。また、S & P B S E S E N S E Xのいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません（以下同じ）。

(注6) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

■過去6ヶ月間の基準価額と市況の推移

決算期	年月日	基準価額		S&P BSE SENSEX		投資証券 組入比率	債券組入 比率
		騰落率	(円換算) (参考指数)	騰落率			
第40期	(期首) 2019年12月16日	円 10,823	% -	ポイント 212.42	% -	% 95.5	% 0.9
	12月末	10,842	0.2	212.70	0.1	93.6	0.9
	2020年1月末	11,045	2.1	212.88	0.2	94.0	0.9
	2月末	10,592	△2.1	206.12	△3.0	93.1	1.0
	(期末) 2020年3月16日	9,139	△15.6	160.57	△24.4	92.9	1.2
第41期	(期首) 2020年3月16日	9,114	-	160.57	-	92.9	1.2
	3月末	7,581	△16.8	146.06	△9.0	92.2	0.4
	4月末	7,839	△14.0	154.09	△4.0	93.6	1.7
	5月末	7,683	△15.7	151.65	△5.6	-	1.8
	(償還日) 2020年6月15日	(償還価額) 7,677.44	△15.8	159.80	△0.5	-	-

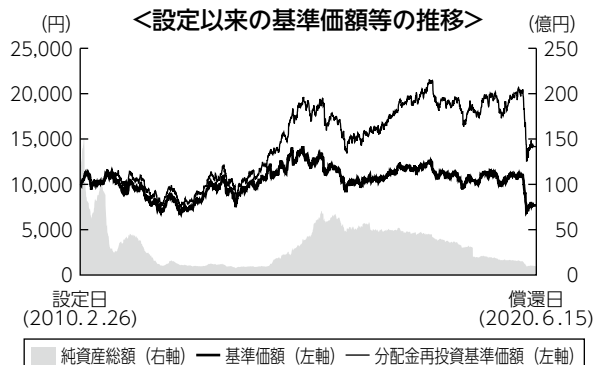
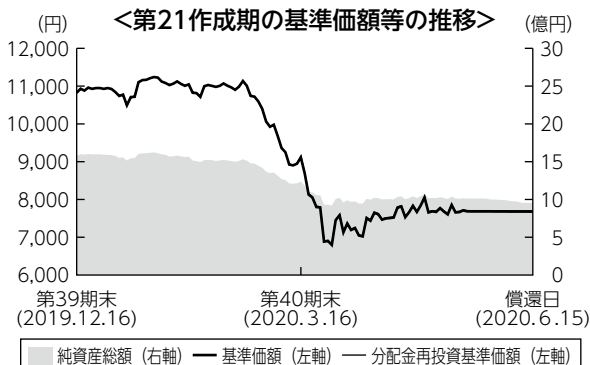
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

■設定以来の運用経過（2010年2月26日から2020年6月15日まで）

基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 「第21作成期の基準価額等の推移」の分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 「設定以来の基準価額等の推移」の基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。

基準価額の主な変動要因

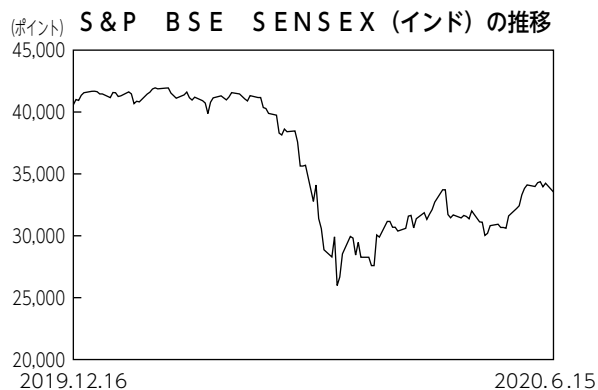
当期のインド株式市場は下落し、インドルピーも対円で下落したことがマイナス寄与となり、基準価額は大きく下落しました。

また、設定来では、基準価額は41.5%上昇しました（分配金再投資ベース、設定来の1万口あたりの分配金累計7,055円）。インドルピーが円に対して下落したことがマイナス寄与となったものの、インド株式市場が上昇傾向となったことがプラス寄与となり、基準価額は上昇しました。

設定来の投資環境

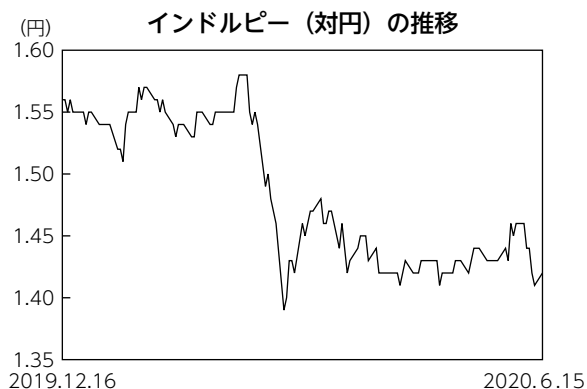
当期のインド株式市場は下落しました。米中貿易摩擦の深刻化や世界的な景気減速懸念の中、2020年2月末にかけては一進一退の動きが継続、3月半ばには、新型コロナウイルスの世界的な蔓延により、大幅下落しました。

また、設定来については、2014年には総選挙でモディ政権が誕生したことへの期待から上昇、その後、中国経済の減速懸念や米利上げ観測の高まりなどから大きく下落する局面がありましたが、相対的に高い経済成長率を背景として、大きく上昇しました。



当期のインドルピーは対円で下落しました。2020年2月末以降、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に加え、インド国内での全土封鎖による景気減速を懸念し大幅に下落しました。

また、設定来については、モディ政権による規制緩和やインフラ整備、外資誘致などの経済改革への期待から2015年にかけてインドルピーは対円で上昇する場面もありましたが、世界的な景気減速懸念や米利上げ観測の高まりなどを背景に、インドルピーは対円で下落傾向となりました。



当期の短期金融市場は日銀が黒田総裁の第2期就任以降も「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を続けており、国債利回りには低下圧力がかかっているため、マイナス圏での推移となりました。

また、設定来については、3ヵ月国庫短期証券利回りはプラス利回りで始まりましたが、日銀が物価目標を早期に実現するために量的・質的金融緩和政策を導入し、その後もマイナス金利政策の導入など金融緩和政策を継続したことから、マイナス圏まで低下しました。

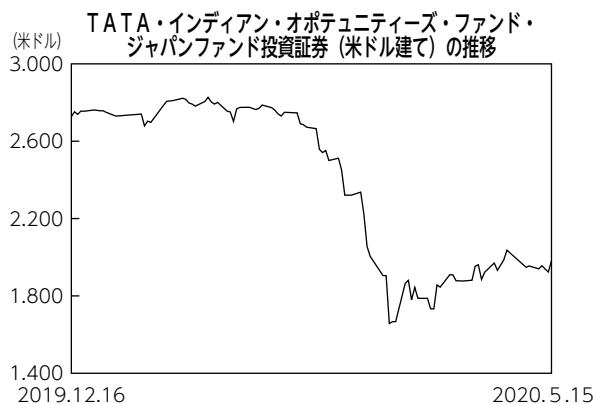
設定来のポートフォリオについて

●当ファンド

当ファンドは主としてインド有数の財閥であるTATAグループの投資信託会社が運用するモーリシャス籍のTATA・インディアン・オポチュニティーズ・ファンド・ジャパンファンド投資証券（米ドル建て）の組入比率は高位を維持しました。また、マネー・マーケット・マザーファンドへの投資を行いました。

●TATA・インディアン・オポチュニティーズ・ファンド・ジャパンファンド投資証券（米ドル建て）

中長期的なインドの経済成長に伴い、個人消費拡大、インフラ整備、金融システム整備等の恩恵を受ける銘柄を中心に注目してきました。また、ポートフォリオ構築に際しては、優秀な経営陣や競争力に優れたビジネスモデルを有する大型株中心に構成し、良好な業績が期待される中型株などを合わせて組み入れ運用を行いました。

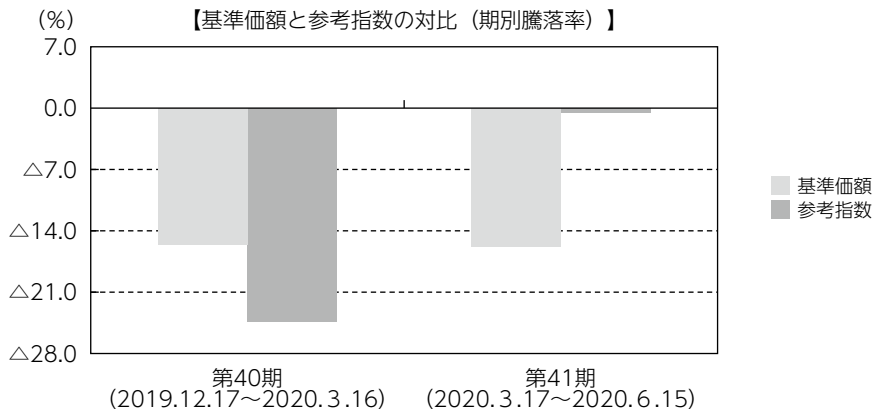


●マネー・マーケット・マザーファンド

残存期間の短い公社債などで運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

収益分配金につきましては基準価額水準・市場動向等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたしました。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第40期
	2019年12月17日 ～2020年3月16日
当期分配金（税引前）	25円
対基準価額比率	0.27%
当期の収益	－円
当期の収益以外	25円
翌期繰越分配対象額	1,291円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

受益者の皆さまの長期にわたるご愛顧に心から感謝を申し上げますとともに、引き続き変わらぬお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第40期～第41期		項目の概要
	(2019年12月17日 ～2020年6月15日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	58円	0.629%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,144円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(21)	(0.230)	
(販売会社)	(34)	(0.372)	
(受託会社)	(3)	(0.027)	
(b) その他費用 (保管費用)	3 (3)	0.036 (0.036)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
合計	61	0.666	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

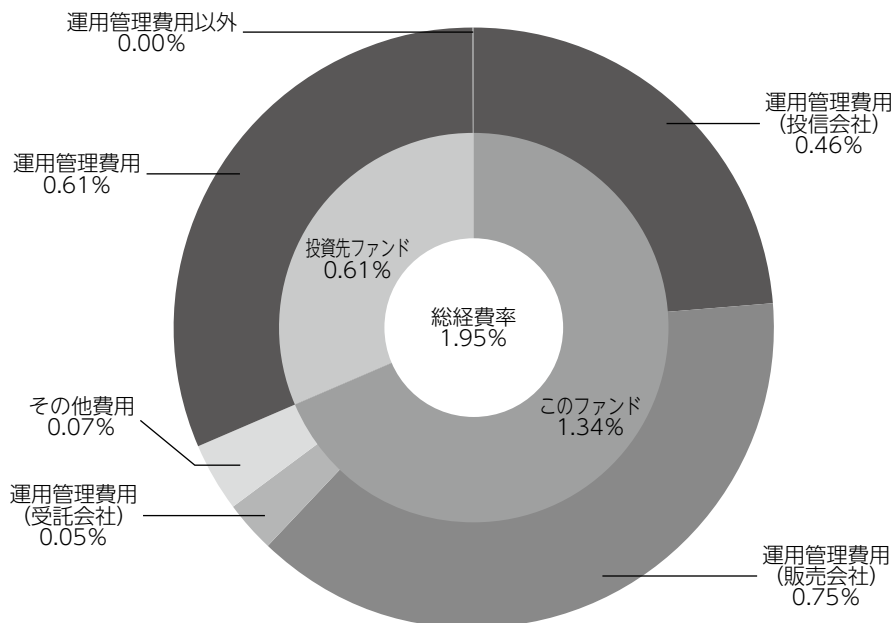
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.95%です。



総経費率 (①+②+③)	1.95%
①このファンドの費用の比率	1.34%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.61%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況 (2019年12月17日から2020年6月15日まで)
投資証券

		第 40 期 ~ 第 41 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外 国	T A T A ・ イ ン デ ィ ア ン ・ オ ポ テ ュ ニ テ ィ ー ズ ・ フ ァ ン ド ・ ジ ャ パ ン フ ァ ン ド	千□ -	千アメリカ・ドル -	千□ 5,038.59	千アメリカ・ドル 10,091

(注) 金額は受渡代金です。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況 (2019年12月17日から2020年6月15日まで)

		第 40 期 ~ 第 41 期			
		設 定		解 約	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
	マネー・マーケット・マザーファンド	千□ -	千円 -	千□ 21,669	千円 22,048

■利害関係人との取引状況等 (2019年12月17日から2020年6月15日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

償還時における有価証券の組入れはありません。第20作成期末の組入れは以下の通りでした。

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第 20 作 成 期 末	
	□	数
T A T A ・ イ ン デ ィ ア ン ・ オ ポ テ ュ ニ テ ィ ー ズ ・ フ ァ ン ド ・ ジ ャ パ ン フ ァ ン ド		千□ 5,038.59
合 計		5,038.59

(2) 親投資信託残高

	第 20 作 成 期 末	
	□	数
マ ネ ー ・ マ ー ケ ッ ト ・ マ ザ ー フ ァ ン ド		千□ 21,669

■投資信託財産の構成

2020年6月15日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 960,198	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	960,198	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年3月16日)、(2020年6月15日)現在

項 目	第 40 期 末	償 還 時
(A) 資 産	1,245,644,968円	960,198,524円
コール・ローン等	74,255,521	960,198,524
投資証券(評価額)	1,149,336,509	-
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	22,052,938	-
(B) 負 債	8,153,928	4,766,382
未払収益分配金	3,394,313	-
未払解約金	-	1,538,618
未払信託報酬	4,759,615	3,227,032
未払利息	-	732
(C) 純資産総額(A-B)	1,237,491,040	955,432,142
元 本	1,357,725,314	1,244,466,716
次期繰越損益金	△120,234,274	-
償還差損益金	-	△289,034,574
(D) 受益権総口数	1,357,725,314口	1,244,466,716口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,114円	0
1万口当たり償還価額(C/D)	-	7,677円44銭

(注) 第39期末における元本額は1,455,249,214円、第40期～償還時における追加設定元本額は10,261,940円、同解約元本額は221,044,438円です。

■損益の状況

[自 2019年12月17日] [自 2020年3月17日]
[至 2020年3月16日] [至 2020年6月15日]

項 目	第 40 期	第 41 期
(A) 配 当 等 収 益	△8,016円	△47,869円
受 取 利 息	351	1,799
支 払 利 息	△8,367	△49,668
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△223,598,048	△175,257,340
売 買 損 益	1,955,678	13,308,652
売 買 損 益	△225,553,726	△188,565,992
(C) 信 託 報 酬 等	△4,924,924	△3,512,007
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△228,530,988	△178,817,216
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△18,991,946	△229,848,072
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	130,682,973	119,630,714
(配当等相当額)	(169,438,549)	(155,307,487)
(売買損益相当額)	(△38,755,576)	(△35,676,773)
(G) 合 計 (D + E + F)	△116,839,961	△289,034,574
(H) 収 益 分 配 金	△3,394,313	-
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△120,234,274	-
追 加 信 託 差 損 益 金	130,682,973	-
(配当等相当額)	(169,438,596)	(-)
(売買損益相当額)	(△38,755,623)	(-)
償 還 差 損 益 金	-	△289,034,574
分 配 準 備 積 立 金	5,974,548	-
繰 越 損 益 金	△256,891,795	-

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	第 40 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収 益 調 整 金	169,438,596
(d) 分 配 準 備 積 立 金	9,368,861
(e) 当 期 分 配 対 象 額 (a+b+c+d)	178,807,457
(f) 1万口当たり当期分配対象額	1,316.96
(g) 分 配 金	3,394,313
(h) 1万口当たり分配金	25

■分配金のお知らせ

決 算 期	第 40 期
1 万 口 当 たり 分 配 金	25円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

《お知らせ》

- 当ファンドが組み入れる外国籍投信の運用スキームについて、インド籍のTATA・オフショア・インディア・オポチュニティーズ・スキーム受益証券からモーリシャス籍のTATA・インディアン・オポチュニティーズ・ファンド・ジャパンファンド投資証券（以下、「TIOF」といいます。）に資産を移管し、TIOFからインド株式に直接投資する変更を行いました。

（2020年3月19日）

■投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2010年2月26日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2020年6月15日		資産総額	960,198,524円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は 追加信託	負債総額	4,766,382円
				純資産総額	955,432,142円
受益権口数	12,190,770,000口	1,244,466,716口	△10,946,303,284口	受益権口数	1,244,466,716口
元本額	12,190,770,000円	1,244,466,716円	△10,946,303,284円	1万口当たり償還金	7,677円44銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	6,842,640,000円	6,898,199,609円	10,081円	100円	1.00%
第2期	8,633,520,000	9,182,057,461	10,635	200	2.00
第3期	2,513,570,000	2,561,644,586	10,191	600	6.00
第4期	4,488,090,000	4,145,708,765	9,237	30	0.30
第5期	4,232,990,000	4,010,674,536	9,475	90	0.90
第6期	2,821,820,000	2,305,651,237	8,171	0	0.00
第7期	1,551,092,724	1,108,127,825	7,144	0	0.00
第8期	1,817,862,724	1,623,574,577	8,931	0	0.00
第9期	1,535,172,724	1,099,449,234	7,162	0	0.00
第10期	1,279,504,308	991,938,123	7,753	0	0.00
第11期	1,110,724,217	990,155,077	8,914	0	0.00
第12期	1,221,543,516	1,212,616,778	9,927	40	0.40
第13期	1,046,514,546	933,432,581	8,919	0	0.00
第14期	989,984,546	867,061,239	8,758	0	0.00
第15期	938,974,546	936,429,082	9,973	35	0.35
第16期	922,932,814	939,555,845	10,180	175	1.75
第17期	1,072,967,183	1,200,538,111	11,189	1,000	10.00
第18期	1,792,837,108	2,130,072,037	11,881	700	7.00
第19期	2,190,159,200	2,767,506,477	12,636	750	7.50
第20期	2,840,942,058	3,754,846,172	13,217	600	6.00
第21期	4,697,567,339	5,689,839,443	12,112	60	0.60
第22期	5,173,609,242	5,881,186,133	11,368	60	0.60
第23期	5,416,318,950	6,101,236,737	11,265	60	0.60
第24期	5,082,400,303	5,127,584,716	10,089	40	0.40
第25期	5,255,620,916	5,339,136,545	10,159	75	0.75
第26期	4,780,120,516	4,987,228,674	10,433	270	2.70
第27期	4,653,844,431	5,061,260,853	10,875	180	1.80
第28期	4,358,061,686	4,845,962,263	11,120	240	2.40
第29期	4,035,879,444	4,626,798,373	11,464	390	3.90
第30期	3,952,833,759	4,619,825,292	11,687	315	3.15
第31期	3,743,121,129	4,423,457,812	11,818	230	2.30

計 算 期	元 本 額	純 資 産 総 額	基 準 価 額	1 万 口 当 たり 分 配 金	
				金 額	分 配 率
第 32 期	3,571,464,270円	3,944,893,709円	11,046円	25円	0.25%
第 33 期	3,374,190,902	3,758,028,478	11,138	90	0.90
第 34 期	3,174,319,873	3,350,883,394	10,556	25	0.25
第 35 期	2,920,237,944	3,126,714,737	10,707	35	0.35
第 36 期	1,902,906,210	2,098,023,901	11,025	35	0.35
第 37 期	1,709,107,019	1,915,117,129	11,205	165	1.65
第 38 期	1,618,678,816	1,678,597,687	10,370	25	0.25
第 39 期	1,455,249,214	1,574,966,861	10,823	390	3.90
第 40 期	1,357,725,314	1,237,491,040	9,114	25	0.25

償還金のお知らせ

1 万口当たり償還金 (税引前)	7,677円44銭
------------------	-----------

償還乗換えの優遇措置の適用について

当ファンドの償還金をもって他の証券投資信託をお求めになる場合には、購入時手数料のうち所定の額を返戻または割引く措置の適用を受けられる場合があります。優遇措置の適用は販売会社によって異なりますので、詳しくは取扱販売会社までお問い合わせ下さい。

TATA・インディアン・オポチュニティーズ・ファンド・ジャパンファンド投資証券

当ファンドは「リアル・インド株式ファンド（3ヵ月決算型）」が投資対象とする外国投資証券です。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

形態	モーリシャス籍外国投資法人／米ドル建投資証券
運用方針	「TATA・オフショア・インド・オポチュニティーズ・スキーム」（インド籍外国投資信託。以下「スキーム」といいます。）への投資を通じて、中長期的な値上り益の獲得を目指します。
主な投資制限	以下の証券にのみ投資します。 インドの証券取引所上場または上場予定もしくは非上場の企業の株式、社債、ワラント インドのユニット・トラストを含む国内投資信託が発行するユニット 政府証券 インドの証券取引所で取引される派生商品 コマーシャル・ペーパー
信託期間	無期限
決算日	毎年3月31日
信託報酬等	純資産総額に対し年率0.80%（上限） 上記料率には、投資顧問会社、管理事務代行会社、保管受託銀行ならびにスキームの保管受託銀行に対する報酬、監査報酬、法的費用などが含まれます。
関係法人	投資顧問会社：TATA アセット マネジメント（モーリシャス）プライベート リミテッド 管理事務代行会社：アペックス ファンド サービスーズ（モーリシャス）リミテッド 保管受託銀行：スタンダード チャータード バンク（モーリシャス）リミテッド

(1) 純損益およびその他の包括利益計算書

2019年3月31日終了年度

	2019年度 米ドル
収益	
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産に係る利益純額	10,252,795
収益合計	10,252,795
費用	
投資顧問報酬	2,307,712
専門家報酬	67,813
監査報酬	13,455
銀行手数料	1,076
保険料	3,562
ライセンス料	2,375
費用合計	2,395,993
税引前利益	7,856,802
税金	—
優先株主に帰属する純資産の増加額	7,856,802

(2) 財政状態計算書

2019年3月31日現在

	2019年度 米ドル
資産	
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産	300,843,631
前払金および債権	1,217
現金および現金同等物	214,035
資産合計	301,058,883
資本	
株式資本	—
負債	
未払金および見越費用	198,853
優先株主に帰属する純資産	300,860,030
負債合計	301,058,883
資本および負債合計	301,058,883
優先株式数	114,831,515
優先株式1株当たり純資産額	2.6200

(3) T A T A ・ イ ン デ ィ ア ン ・ オ ポ テ ュ ニ テ ィ ー ズ ・ フ ァ ン ド ・ ジ ャ パ ン フ ァ ン ド の 実 質 株 式 組 入 銘 柄

「T A T A ・ イ ン デ ィ ア ン ・ オ ポ テ ュ ニ テ ィ ー ズ ・ フ ァ ン ド ・ ジ ャ パ ン フ ァ ン ド」は「T A T A ・ オ フ シ ョ ア ・ イ ン デ ィ ア ・ オ ポ テ ュ ニ テ ィ ー ズ ・ ス キ ー ム」を 通 じ て 投 資 を 行 っ て お り ま す。

(2019年3月29日現在)

銘	柄	名	業種名	金額 (千米ドル)
1	HDFC Bank Ltd.		銀行	29,806
2	ICICI Bank Ltd.		銀行	29,705
3	Tata Consultancy Services Ltd.		ソフトウェア	17,634
4	HDFC Ltd.		金融	15,350
5	Varun Beverages Ltd.		非耐久消費財	14,968
6	Kotak Mahindra Bank		銀行	14,840
7	Reliance Industries Ltd.		石油製品	13,592
8	State Bank Of India		銀行	13,063
9	Gujarat State Petronet Ltd.		ガス	12,450
10	ITC Ltd.		非耐久消費財	12,450
11	Hindustan Unilever Ltd.		非耐久消費財	8,874
12	Infosys Ltd.		ソフトウェア	8,809
13	Bajaj Auto Ltd.		自動車	8,787
14	Ultratech Cement Ltd.		セメント	8,662
15	United Spirits Ltd.		非耐久消費財	8,480
16	Bata India Ltd.		耐久消費財	7,914
17	Larsen & Toubro Ltd.		建設計画管理	7,863
18	Thomas Cook (India) Ltd.		サービス	7,843
19	Maruti Suzuki India Ltd.		自動車	7,613
20	Future Retail Ltd.		小売	6,817
21	Federal Bank Ltd.		銀行	6,547
22	Mahindra & Mahindra Ltd.		自動車	4,477
23	Thermax Ltd.		産業資本財	3,666
24	Kalpataru Power Transmission Ltd.		電力	3,514
25	Indian Hotels Co. Ltd.		ホテル、リゾート及びその他娯楽施設	3,356
26	Basf India Ltd.		化学	3,056
27	Godrej Agrovet Ltd.		非耐久消費財	2,936
28	Dlf Ltd.		建設	2,914
29	Bosch Ltd.		自動車付属品	2,792
30	Glaxo Smithkline Con Healthcar Ltd.		非耐久消費財	2,093
31	Aia Engineering Ltd.		工業製品	1,945

(T A T A ア セ ッ ト マ ネ ジ メ ン ト (モ ー リ シ ャ ス) プ ラ イ ベ ー ト リ ミ テ ッ ド の デ ー タ を 基 に ア セ ッ ト マ ネ ジ メ ン ト O n e が 作 成 し た も の で す 。)

マネー・マーケット・マザーファンド

第14期 運用報告書

(決算日 2019年9月17日)

『マネー・マーケット・マザーファンド』は、去る2019年9月17日に第14期の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をお知らせいたします。

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

形 態	親投資信託
信 託 期 間	原則、無期限とします。
運 用 方 針	主としてわが国の短期公社債に投資し、利子等の安定した収益の確保をはかることを目的として運用を行います。
主 要 運 用 対 象	わが国の公社債を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。
分 配 方 針	運用による収益は、信託終了時まで投資信託財産中に留保し、期中には分配を行いません。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

○最近3期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債券先物比率	純資産額
	円	騰落率			
12期 (2017年9月15日)	10,192	△0.05	—	—	百万円 123
13期 (2018年9月18日)	10,184	△0.08	—	—	123
14期 (2019年9月17日)	10,177	△0.07	65.5	—	123

※△(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

※実質的に本邦通貨建の公社債に投資を行い、安定した収益の確保を目指して運用を行いますが、特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

※ベンチマークとは、ファンドの運用成果の評価基準(目標基準)となる指標をいい、約款または投資信託説明書(目論見書)において、その旨の記載があるものを指します。

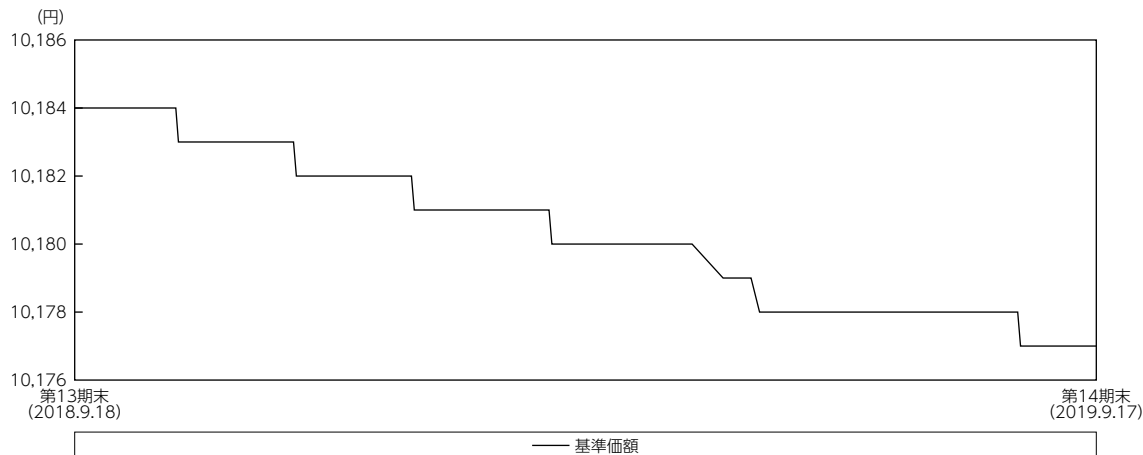
○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債組入比率	債券先物比率	債券率
	円	騰落率			
(期首) 2018年9月18日	10,184	—	—	—	—
9月末	10,184	0.00	—	—	—
10月末	10,183	△0.01	—	—	—
11月末	10,183	△0.01	—	—	—
12月末	10,182	△0.02	—	—	—
2019年1月末	10,181	△0.03	—	—	—
2月末	10,181	△0.03	—	—	—
3月末	10,180	△0.04	—	—	—
4月末	10,180	△0.04	—	—	—
5月末	10,178	△0.06	57.5	—	—
6月末	10,178	△0.06	65.7	—	—
7月末	10,178	△0.06	65.6	—	—
8月末	10,177	△0.07	65.5	—	—
(期末) 2019年9月17日	10,177	△0.07	65.5	—	—

※騰落率は期首比。

運用経過の説明

基準価額等の推移



基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主としてわが国の短期公社債に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行います。

基準価額はマイナス金利の影響もあり期首10,184円から、10,177円に7円の値下がりとなりました。

投資環境

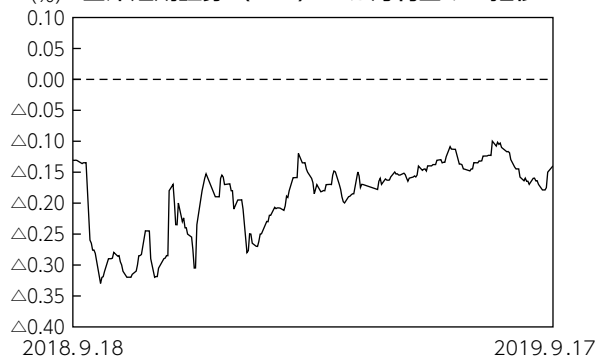
● 国内債券市場

当期間の残存1年程度の日本国債の利回りについては、日銀の金融緩和の影響もあり、マイナス金利が継続しました。

2018年の後半から貿易問題などを背景に景気減速懸念が高まったため各国中央銀行は緩和的な金融政策にシフトしており、各国の長期国債利回りは低下傾向で推移しました。一方で、短期のゾーンは比較的狭いレンジの推移となりました。

国債を除く債券については、プラス利回りに対するニーズも強いことから、0%前後の利回りに張り付いた状態になっています。

国庫短期証券 (TB) 3ヵ月利回りの推移



※国庫短期証券 (TB) 3ヵ月利回りの低下は価格の上昇を示し、逆の場合は下落したことを示します。

■ ポートフォリオについて

流動性や信用力を勘案し、残存1年以内の公社債を中心に運用を行いました。

■ ベンチマークとの差異について

本邦通貨建ての公社債に投資を行い、安定した収益の確保を目指して運用を行いますが、特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

よって、グラフは掲載しておりません。

今後の運用方針

引き続き短期公社債などを中心に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、市場環境によっては、目標とする運用ができない場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年9月19日～2019年9月17日)

該当事項はございません。

○ 売買及び取引の状況

(2018年9月19日～2019年9月17日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国内	地 方 債 証 券	千円 80,947	千円 -

※金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○ 利害関係人との取引状況等

(2018年9月19日～2019年9月17日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○ 組入資産の明細

(2019年9月17日現在)

国内公社債

(A) 国内（邦貨建）公社債 種類別開示

区 分	当期末							
	額面金額	評 価 額	組入比率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率			
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満	
地 方 債 証 券	千円 80,000	千円 80,586	% 65.5	% -	% -	% -	% 65.5	
合 計	80,000	80,586	65.5	-	-	-	65.5	

※組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の割合。

※信用格付けは、格付投資情報センター、ムーディーズ・インベストーズ・サービス・インク、S & Pグローバル・レーティング等を参考に記載しています。

(B) 国内（邦貨建）公社債 銘柄別開示

銘 柄	当期末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
地方債証券	%	千円	千円	
第336回大阪府公募公債（10年）	1.46	10,000	10,076	2020/3/30
平成20年度第9回奈良県公債	1.38	70,000	70,510	2020/3/31
合 計		80,000	80,586	

○投資信託財産の構成

(2019年9月17日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 80,586	% 65.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	42,474	34.5
投 資 信 託 財 産 総 額	123,060	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年9月17日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	123,060,604円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	41,955,530
地 方 債 証 券(評価額)	80,586,826
未 収 利 息	351,120
前 払 費 用	167,128
(B) 負 債	95
未 払 利 息	95
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	123,060,509
元 本	120,915,179
次 期 繰 越 損 益 金	2,145,330
(D) 受 益 権 総 口 数	120,915,179口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,177円

○損益の状況 (2018年9月19日～2019年9月17日)

項 目	当 期
(A) 受 取 利 息 等 収 益	277,026円
受 取 利 息	351,120
支 払 利 息	△ 74,094
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 360,174
売 買 損	△ 360,174
(C) 当 期 利 益(A+B)	△ 83,148
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	2,228,478
(E) 計 (C+D)	2,145,330
次 期 繰 越 損 益 金(E)	2,145,330

注記事項

・投資信託の期首元本額、期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

期首元本額	120,915,179円
期中追加設定元本額	-円
期中一部解約元本額	-円

期末元本の内訳

フロンティア・ワールド・インカム・ファンド	98,705,927円
フロンティア・ワールド・インカム・ファンド (年1回決算型)	490,794円
リアル・インド株式ファンド (3ヵ月決算型)	21,669,390円
グローバル・フォーカス (毎月決算型)	49,068円
合 計	120,915,179円